

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11 Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



【イベント開催概要・レースレポート】

■開催概要

- 大会名称 : 2025 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット フルコース (5.821km)
- 開催日・天候 : 10月11日(土) / 曇り時々雨(ウェット)
- 主催者 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット
三重県鈴鹿市稲生町7992 <https://www.suzukacircuit.jp>
- 開催クラス : ★総参加台数…104台
FUN & RUN Mix Small / EXPERT 22台
FUN & RUN Mix Big / EXPERT 24台
NEO STANDARD<CBR250R> 8台
NEO STANDARD<G310R> 18台
NEO STANDARD<Ninja250> 16台
NEO STANDARD<YZF-R25> 16台



★レースリザルトはインターネットでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/



★レース写真は、バトルファクトリー様のHPでご購入いただけます。
<http://www.battle.co.jp/race/top.htm>

※2025年FUN&RUN! 2-Wheelsは、この大会でシリーズ日程を終了いたしました。

2026年の開催につきましては、別途あらためてご案内いたしますので、引き続きよろしくお願いいたします。

【開催クラス紹介】

【NEO STANDARD】

現在、各社から発売されている、手頃な車両価格で最も人気の高い4ストローク250ccマシンによるエントリークラス。カワサキNinja250、ホンダCBR250R、YZF-R25、BMW G310Rの4車種にクラス分けされています。

スプリントレースでありながら、途中ライダー交代またはピットインが必要となります。また、チームエントリーでシリーズ戦として開催し、車両別となったカテゴリーでのチャンピオンが決定するのも人気の理由。ライダーを1大会2名まで登録することができ、チームとしても楽しめる、経済的なクラスとなっています。

●参加車両例 カワサキNinja250 ホンダCBR250R ヤマハYZF-R25 BMW G310R

【FUN&RUN Mix Small】

いわゆるシングルや小排気量車、すなわち排気量が2st250cc/4st 400cc以下で、ホイールサイズが16インチ以上の一般生産型市販車、単気筒および2気筒エンジンを搭載するバイク、そして400cc以下と 2ストローク250cc公道用一般車両と車両が対象。一世を風靡したレーサーレプリカなど個性的なバイクが参加します。排気量と気筒数により、Small I、Small IIと参加車両のカテゴリーが 分かれています。

●参加車両例 ホンダ NSR250SE・CBR400RR ヤマハ TZR250RS・SRX600 スズキ SV400S カワサキZXR400R等

【FUN&RUN Mix Big】

「Mix Big」は、国内外のV型2気筒エンジン搭載車と一般生産型の車両で4ストローク401cc以上のマシンなら何でも参加可能なクラス。国内外メーカーのツインバイク、そしてビッグネイキッドが一堂に会するレースは迫力が違います。特に「C-OPEN」クラスは、排気量が2ストローク251cc/4ストローク401cc以上でホイールサイズが16インチ以上であればどんな車両でも参加可能なクラスです。

●参加車両例 ホンダ CBR1000RR・CB1300SF・VTR1000SP1 ヤマハYZF-R6・XJR1300 スズキ GSX-R600・GSF1200 カワサキ GPZ900
ドゥカティ 999S ドゥカティ 1098S アプリリア RSV1000R

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11 Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



“ファンラン”は今回が2025年シーズンの最終戦。 フルコースを舞台に各カテゴリーで熱いバトルが展開された!

「みんなで走ってバイクをもっと楽しもう!!」をコンセプトとする参加型レースイベントの「FUN & RUN! 2-Wheels (通称“ファンラン”)」。春らしいポカポカ陽気のもと、5月24日(土)に2025年シーズンが開幕し、その後、初夏の7月19日(土)に第2戦が開催され、今回の第3戦が2025年シーズンの最終戦となった。過ごしやすい秋空のもとで行われた今回は、「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」と「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」、そして「NEO STANDARD」の各レースが開催された。

往年の2サイクル250cc/4ストローク400ccのレーサーレプリカがコースを疾走する「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」のレースではHonda RS125Rや同NSF250R、HARC-PRO HP250といった市販レーサーも入り乱れ、激しいバトルが展開された。また、2000年代から2022年代の600cc/リッタースーパースポーツが多く参戦する「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」のレースでは大排気量エンジンならではの迫力あるエキゾーストノートを鳴り響かせながらの好バトルに注目が集まった。どちらのレースもエントラントは好きなバイクで参戦する傾向がある。そのため、終始アットホームな雰囲気が漂っていたのが印象的だった。

スプリントレースでありながらレース途中でのライダー交代またはピットインが義務付けられており、セミ耐久のような楽しみ方ができることから昨今の“ファンラン”で特に人気を集めている「NEO STANDARD」のレースではHonda CBR250RとBMW G310R、Kawasaki Ninja250とYAMAHA YZF-R25のそれぞれ混走による2レースが行われた。このカテゴリーは今回が2025年のシリーズチャンピオンが決定する大一番ということで、いつも以上にバトルが白熱した。

今シーズンの“ファンラン”は昨シーズンに続き、開幕戦のみが東コースで行われ、第2戦と今回の第3戦はフルコースを舞台に開催された。フルコース大会はやはり好評で、エントラントからは「せっかく鈴鹿を走るならフルコースが良い」「フルコースは攻め甲斐があって楽しい」「久しぶりに出た“ファンラン”がフルコース大会。難しいけれど、やはりフルコースを走りたい」といった声が聞かれた。第2戦ではKawasaki Ninja ZX-25Rのワンメイクレース「Ninja Team Green Cup」とBMW G310Rのワンメイクレース「G310R Trophy Supported by オートレース宇部Racing Team」が併催され、今までとはまた違った楽しさを提供できた今シーズンの“ファンラン”。25年以上の歴史を誇る“ファンラン”の2026年シーズンも是非楽しみにしていただきたい。



※レポートに掲載の各クラス・レースの仮表彰式は、不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11
Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



FUN & RUN Mix Small / EXPERT

公式予選では市販レーサーのHonda RS125Rを駆る上田裕史が2分57秒147のトップタイムをマークしたが、その上田が転倒。清水省作がそれを上回る2分56秒064をマークする。さらに市販レーサーのHonda NSF250Rに乗る前田義生が2分53秒856をマークしてベストを更新する。

ウェット宣言が出され、6周に減算されて行われた決勝レースでは2番グリッドスタートの清水がホールショットをゲット。それに5番グリッドスタートの小屋康二が続く。小屋が清水をパス。その小屋、清水、7番グリッドスタートの藪邦正のオーダーでオープニングラップを帰ってくる。小屋と清水はオープニングラップから早くも後続を引き離しはじめると、2周目の1コーナー進入では清水が小屋の前に。その背後にポールポジションからスタートした前田が接近するが、その前田が3周目のスプーンカーブで転倒する。藪と小屋がバトルを続けたことにより、独走状態となった清水がトップチェッカー。藪が5周目に小屋をパスするが、ジャンプスタートによって藪に30秒が加算され、小屋の総合2位が決まった。



FUN & RUN Mix Small / EXPERT

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11
Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



FUN & RUN Mix Small 総合／カテゴリー別表彰式
(優勝：小屋康二、2位：矢野正幸、3位：藪邦正) (Small I 優勝：小屋康二、Small II 優勝：矢野正幸)



FUN & RUN Mix Small EXPERT 総合／カテゴリー別表彰式
(優勝：清水省作、2位：芝井賢一) (Small I EXPERT 優勝：清水省作)

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11
Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



FUN & RUN Mix Big / EXPERT

国内外の600cc／リッタースーパースポーツがしのぎを削るこのカテゴリーの公式予選ではワークスレーサーRVF750の技術を市販車に投入したHonda VFR 750R (RC30) を駆る橋本尚樹が2分42秒976をマークしてまずタイミングボードのトップに。立入友好、上村大輔、熊谷昇三らがそのタイムを上回る。

ウェット宣言が出され、1周減算されて7周によって争われた決勝レースでは2列目4番グリッドスタートの寺野誠が良いクラッチミートを披露してホールショットをゲット。それにポールポジションスタートの立入、5番グリッドスタートの橋本が続く。橋本が立入をパスするが、すぐに立入が橋本の前に。しかし、橋本が再び立入をパス。立入、橋本、寺野のオーダーでオープニングラップを終了する。2周目のデグナーカーブ1つ目で橋本が立入をパスすると、橋本は徐々に単独走行となる。その後方では立入、寺野も単独2番手、単独3番手に。しかし、5周目に立入が橋本に急接近するとこれをパスする。立入がファイナルラップでミス。橋本がトップチェッカーを受けた。



FUN & RUN Mix Big / EXPERT

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11 Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD

FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,

NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



FUN & RUN Mix Big 総合／カテゴリー別表彰式

(優勝：立入友好、2位：寺野誠、3位：川原龍次) (BigⅠ優勝：寺野誠、BigⅡ優勝：川原龍次、Open 優勝：立入友好)



FUN & RUN Mix Big 総合／カテゴリー別表彰式

(優勝：立入友好、2位：寺野誠、3位：川原龍次) (BigⅠ優勝：寺野誠、BigⅡ優勝：川原龍次、Open 優勝：立入友好)

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11 Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



NEO STANDARD<CBR250R／G310R>

公式予選では昨シーズンのG310Rクラスチャンピオンである佐々木龍人(MOTO・ART)が3分25秒175をマークしてピットIN。樋口圭祐(久保村モーター・SUZUKA R&D)が3分24秒339をマークして佐々木のタイムを上回る。

ウェット宣言が出され、11周に減算されて行われた決勝レースではポールポジションスタートの樋口がホールショットを奪うが、4列目10番グリッドスタートの高橋英敦／小田泰宏組(effect+カワノルマー+ヘイセイ+長野県二輪車青年団)がその樋口をパスしてトップに。高橋／小田組はオープニングラップから早くも後続を引き離しにかかる。G310Rクラスのランキングリーダー原田武志(ZIP MOTORPRO with 焼肉はらだ本店)とCBR250Rクラスのランキングリーダー多賀英昭／伊藤延美組(Club BATTLE)が転倒し、チャンピオン候補が次々に順位を落とす。

3番グリッドスタートの奥中凱心／定行里紗組(Team BATTLE+WTG!Karl)の定行は早々にピットへ。奥中にライダーチェンジする。2番グリッドスタートの佐々木がトップ独走状態となっていた高橋／小田組に接近。その佐々木の背後に池口徹(チーム石ヨコイwithぴいたあぱん)も迫る。

上位陣では樋口が4周目終了時点でピットに。佐々木も6周目終了時点でピットに入る。高橋／小田組と池口が7周目終了時点でピットに入った後の上位陣は佐々木、樋口、池口、高橋／小田組のオーダー。結局、佐々木がトップチェッカーを受けると同時にG310Rクラスのウィナーになり、G310Rクラスのチャンピオンも決めた。CBR250Rクラスのウィナーは神谷健斗(J-peach シンセツRT 2)だった。



NEO STANDARD<CBR250R／G310R>

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11 Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



NEO STANDARD<CBR250R> (優勝:神谷健斗、2位:奥中凱心/定行里紗、3位:原田晃好/長瀬拓海)



NEO STANDARD<G310R> (優勝:佐々木龍人、2位:樋口圭祐、3位:池口徹)

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11 Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



NEO STANDARD<Ninja250/YZF-R25>

YZF-R25クラスで5回のチャンピオンに輝いている鳥居典生(港北測量Mガレージ&Tw's41with KIKS)が3分14秒180という圧倒的なタイムをマークしてポールポジションを獲得。Ninja250クラスでは西村博貴(street ROCKET & MOTO star & PENSKE)が3分16秒180というクラストップタイムをマークする。

ウェット宣言が出され、1周減算されて11周によって争われた決勝レースではポールポジションスタートの鳥居が良いクラッチミートを披露してホールショットを奪うと、そのまま後続を引き離しにかかる。それに4列目10番グリッドスタートの山下浩司/石崎篤組(本家 山下ガレージWith Bike Shop Larimar)が続く。オープニングラップ終了時点で前回のYZF-R25クラスウィナー中村和悦(YTR)がピットへ。腕章交換を行う。2番グリッドスタートの西村、3番グリッドスタートの松浦光利(ART WORKSレーシングチーム)もオープニングラップ終了時点でピットに入る。

単独トップを走る鳥居の後方で里征史(ワルキューレ&OSデザイン&かつらぎ運輸)も単独2番手に。さらにそこから遅れ、山本晃久(MOTO☆STAR#71 with PENSKE)、松浦、杉島潤(ワルキューレ&OSデザイン&かつらぎ運輸)の3台がテールtoノーズのバトルを展開する。

山本と杉島が5周目終了時点でピットへ。2番手を走る里が6周目に転倒。鳥居が6周目終了時点でピットに入り、腕章を交換。松浦も同じく6周目終了時点でピットINする。

鳥居がポールtoウィンを決め、6回目のYZF-R25クラスチャンピオンに輝いた。Ninja250クラスのウィナーは庄司哲也(モトスター・ペンスケ・堀工房・SR)だった。



NEO STANDARD<Ninja250/YZF-R25>

2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

11
Sat. Oct.



RACE [Mix Small & Mix Big] - NEO STANDARD
FUN&RUN Mix Small, FUN&RUN Mix Big,
NEO STANDARD(Ninja250/YZF-R25), NEO STANDARD(CBR250R/G310R)



NEO STANDARD<Ninja250> (優勝:庄司哲也、2位:向井丈人、3位:山本晃久)



NEO STANDARD<YZF-R25> (優勝:鳥居典生、2位:松浦光利、3位:中村和悦)